



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和2年3月24日
養父市立大屋中学校
学校だより 第15号
TEL 079-669-0111

令和元年度 修了式の日を迎えました

中庭の梅が、日毎にその花卉を柔らかに拵げ、紅色に鮮やかさが増してきました。校庭の桜の蕾も色濃くなり、ぷっくりと膨らみ始めています。

また春が巡ってきました。

過日18日(水)に、本校の第48回卒業証書授与式を挙行政いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、規模や時間等の縮小を余儀なくされた式ではありましたが、凜とした姿勢で式に臨む21人の卒業生の姿に大きな感動を覚えました。

在校生代表として出席した2年生の神尾和輝君による送辞、3年生の上垣菜春さんによる答辞、そして3年生による合唱「旅立ちの日に…」へと続く流れは、ドラマを見ているかのような構成で、何度も胸が熱くなりました。特に、答辞での「在校生の皆さん、私たちの声は届いていますか」という呼びかけには、思わず涙しました。

そして今日、修了式において1・2年生に卒業式での感動を伝えるとともに、動画を通して卒業生による答辞や合唱を披露しました。卒業生の皆さん、君たちの思いを在校生にしっかりと届けました。

これまで、ありがとう。そして、卒業、おめでとう。大屋中学校は、君たちのこれからをいつまでも応援しています。



<3年生による合唱>



<答辞:上垣さん>



<送辞:神尾君>



<教室での記念写真>



<退場する卒業生>



<外でのお見送り>

1・2年生にとって

さて、1・2年生にとっては、今日は修了式の日です。

この1年を振り返ってみて、皆さんはどんな成長を実感しているでしょうか。「そんなに成長したとは思わないけど」と言うかもしれませんが、そんなことは決してありません。1年前に比べて、できるようになってきたこと、個人的に挑戦してみたことなど、今年度1年間の自分自身を振り返ってみることは大事なことです。もちろん、少し苦手になってきていることや課題に感じていることもあるでしょう。でもそれは、成長に伴って、ものの見方や考え方がこれまでと違ってきたからであり、「もっとこうなりたい」「もっとこんなことができるようになったらいいのに」と自分自身への要求も高くなってきているから、そう思うのです。

実はその思いこそが、その人をさらに成長させるのであり、その思いと今の自分が違うからと言って、自分が全くダメだと思ふ必要もありません。できる、できないはともかく、そういう「自分への欲張り」を持ち続けることが大切なのです。それにより、自分の普段の行動も、いつの間にか自然な形で変わってきます。だからこそ、毎日、目の前のことにしっかりと取り組んでいくことが大切であり、それが一番の力業であるといえるのです。



<中庭の紅梅>

この大屋中学校から巣立っていく3年生からどんなことを学び、これからの生活にどう活かしていくのかについてもしっかりと自分なりに考えながら、この春休みを、新学期からの自分づくりに向けて丁寧に作戦を立てていく期間にしてほしいものです。4月からの皆さんに、大いに期待しています。



<お知らせ：来年度に向けて>

年度末は、来年度の取組の方向性についてとりまとめる時期でもあります。新型コロナウイルス感染症対策も含め、現在検討していることを一部お知らせします。

【修学旅行について】

5月27日(水)～29日(金)に予定し準備を進めていました修学旅行については、新型コロナウイルス感染症対策の関係で訪問先の受け入れの見通しに不透明さが増す中、市内の他の中学校とも申し合わせの上、実施を秋(9月または10月)に延期することにしました。具体的な日程は、現在、業者等と調整中です。

【中間テストの期間について】

学力向上に向けた取組の一環として、来年度から、中間テストについてはこれまでのような期間を設けず、学年や各教科の学習のまとまりに応じて、適宜、計画的にテストを行う方式に変更します。なお、期末テストについては、これまでと同様に一定の期間を設けて実施することとします。

【部活動について】

今後の生徒数や男女の数の推移を見ると、各部に一定数の生徒を確保し、活動のさらなる充実を図るには、今ある部の数を減らすことも考えなければならない状況です。そこで、再来年度から1つの部について新入生の募集を停止する予定です。